



循環型の地域認証制度 「RE-Label」

フランス・パリ

概要

REFLOWプロジェクトに参加したパリ市が挙げた成果として、オブジェや家具を対象とし、フランス各地の工芸コミュニティによる循環型活動を促進・認定する新しい認証制度「RE-label」の開発がある。

REFLOWとは

REFLOWは、2019年から2022年にかけて行われるEU Horizon 2020イノベーション・アクション・プロジェクトであり、欧州各地にある自治体、科学研究機関、技術プロバイダー、デザイン団体や草の根組織、中小企業を含む28のプロジェクトパートナーの専門知識を結集している。REFLOWプロジェクトは、生産の再局地化と異なるスケールでの物質の流れの再構成を通じて循環型・再生型の都市を開発することをビジョンとして掲げている。パリは本プロジェクトでパイロットとなる6都市のうちの一つである。

RE-Labelの必要性

パリ市は過去数十年間にわたり持続可能な成長と資源回収の分野で先駆者であり続け、素材の再利用や、地元で持続可能な方法で生産された製品といった社会的な要求に応えてきた。しかし、この成長分野では、標準化された認識と検証が不足している。国際的には、持続可能な生産を保証する一般的な方法として欧州のエコラベル¹のような認証制度があるが、そのような国際的なラベルは、地域や地区のレベルで活動している小規模のメーカーには手が届かないものである場合が多い。

RE-Labelは、地域のニーズに合わせたより親しみやすい認証制度と、より循環型の生産を目指す工芸職人へのサポートの両方を提供するものである。

RE-Label

Re-Labelは、地域のメーカーがリユースやリサイクルに関する作業を調整することを可能にする。また、Re-Labelは、木材を主な材料とする地域のメーカーや工房に、持続可能な実践を共有するための関係者の地域コミュニティを提供している。環境に配慮した製品づくりを推進・評価したいメーカーは、各地域のRE-Labelコミュニティに参加し、ネットワークを広げることができる。また、メーカーは、廃材を交換する適切なパートナーを見つけることもでき、材料の循環利用や廃棄物の削減を支援できる。地域コミュニティは、その地域での再利用の実践を促す役割を果たし、メーカーが自らの実践を共有することを呼びかける。加えてRE-Labelのツールボックスは、メーカーがラベルを作成することを可能にし、製品の循環性の証明と持続可能な生産方法を宣伝できる。RE-Labelコミュニティに参加するメーカーは、地域コミュニティと、認定されたRE-Labelを通じて、自分たちの仕事を評価することができる。また、大規模な工房や企業は、地域コミュニティを利用して、地域のメーカー間の協力を促進するツールや手法を導入することで、小規模なメーカーに仕事を割り当てることができる。



人口: 216.1万人	面積 105.4 km ²
首長誓約 署名年: 2008	CO ₂ 排出 削減目標: 2050年までに 100%削減 ¹

1. <https://unfccc.int/climate-action/un-global-climate-action-awards/climate-leaders/city-of-paris#:~:text=By%202050%2C%20the%20City%20of,zero%20net%20carbon%20target%20for>

教訓

パリ市は、地域のステークホルダーをつなぐと同時に、地域のブランディングに注力することで、地域のメーカーコミュニティが循環型かつ持続可能な方法で相互作用することの重要性を強調した。短いサプライチェーンと地域の製造業の価値を重視することで、RE-Labelは他の欧州加盟国でも再現可能な制度となっている。